「元気とやま創造計画アクションプラン（R5年度版）」

政策の柱	未来とやま	政策名	7 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
政策目標	小学校入学前から高校卒業後までの、切れ目のない一貫した支援体制の整備により、障害のある子ども一人ひとりの自立と社会参加の実現が図られていること。		

主な事業等

（単位：千円）

施策	内容	【参考】R5予算額
（1）特別な教育的ニーズのある子どもへの「多様な学びの場」の提供	■一人ひとりのニーズに応じた教育の推進と支援体制の整備・充実 ・とやまの特別支援教育強化充実事業 －小中学校巡回指導員及び高等学校巡回指導員の配置や外部専門家の派遣による学校への支援の充実 －管理職や教務主任等を対象とした研修や、11年次教職員研修において小中学校の全教員が特別支援学校での体験研修を行うなど、特別支援教育における教員の専門性の向上 －発達障害を含め障害のある児童生徒を支援するスタディ・メイト（特別支援教育支援員）の養成、資質向上 ・【新】SDGsインクルーシブ教育システム推進事業 －インクルーシブ教育システムの理念の啓発のための情報発信 －インクルーシブ教育推進員による小中学校への学びの場の見直しへの助言	9,880の一部 2,027
（2）障害のある子どもに合った指導法等の検討と適切な合理的配慮の提供	■合理的配慮の提供 ・【拡】特別支援学校医療的ケア体制整備事業 －日常的に医療的ケアを必要とする児童生徒の教育が安全かつ円滑にできるよう支援 －県立特別支援学校に看護職員を配置 －医療的ケア指導チームを設置し、学校の実施体制への指導助言や看護職員からの相談対応、助言 ・特別支援学校通学運営費 特別支援学校に通学する児童生徒の安全確保や遠距離通学に伴う負担、保護者の送迎に対する負担軽減を図るため、通学バスを運行 ■共生・共育の推進 ・とやまの特別支援教育強化充実事業（再掲） －手話及び手話言語条例の普及啓発のため、手話使用者を学校に派遣 －特別支援学校に在籍する児童生徒の居住地校での交流及び共同学習を支援	61,934 269,292 9,880の一部
（3）教員の指導力向上	■指導力の向上 ・とやまの特別支援教育強化充実事業（再掲） －全教員が特別支援学校での体験研修を行うなど、特別支援教育における教員の専門性向上 －オンデマンド研修コンテンツを作成し、研修機会を充実 ・教員免許検定認定講習会費 特別支援学校教諭免許状取得の推進	9,880の一部 677
（4）高等特別支援学校等での就労支援の充実	■就労支援体制の整備 ・特別支援学校就労応援事業 －特別支援学校就労応援コーディネーター及び障害者就労定着サポーターの配置 －就労体験等の協力企業の「特別支援学校就労応援団とやま」への登録 －早期からの仕事体験等、キャリア教育や就労支援の充実	7,327

＜参考＞

活動指標

指標名	現況 R3年度	目標 R3（2021年度）	目標 R8（2026年度）	指標の説明
スタディ・メイト（特別支援教育支援員）の延べ養成人数	878人	860人	1,040人	スタディ・メイト養成講座を受講し、修了証を交付された延べ人数 スタディ・メイト（特別支援教育支援員）：発達障害を含む障害のある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動の支援を行う支援員